

「めざせ 日本一！」
— 心と力を合わせよう —

「幸せを願って」

NO.250

H27. 5. 8(金)
(株) ユ キ
ダスキン新居浜支店
社長 小野 正師

合掌 世間は、ゴールデンウイークの真只中です。私たちダスキンは、レンタル等の前倒しで現場は大忙しの日々ですね。今年の4月は雨の多い日が続きました。桜の開花は例年より早かったようですが散るのも早く、花見も充分楽しめなかったのではないのでしょうか。

お陰さまで、DFC 全国加盟店会12期を終え、この5月26日には定時総会を迎えます。11期を含めたこの2年間は委員会活動を重視し、3委員会4部会が精力的に動いて下さいました。その成果については、札幌での全国経営者勉強会の分科会においてご覧いただき、大会 DVD を各地域本部に送付しました。また、随時加盟店会ニュースや D-Link 等でも委員会活動の進捗状況もお知らせして参りました。それでも、皆さまへの報知が充分ではないようですので、今期からはエリア会長さんにも直接情報が伝わるように工夫してまいります。

4月21日(火)には、私ども三役会と生産協栄会との懇談会が大阪中央工場ですべて初めて開催されました。生産協栄会の佐藤理事長さんに、(各事業部の加盟店会理事長が集まる会合が年に何度か開催)一度懇談会をしませんかとの気軽な声掛けから始まりました。ただ私の中には、この15年ほどで間違いなく30%ほどの売上減少があり、DC 商品の洗浄加工数量も大きく減っている現状を大変申し訳ないとの思いがありました。もちろん、ずっと手をこまねいていた訳ではありませんが、昨年のファミリーマガジン12月号には、鈴木琢生産本郡長による特集が載っていました。「生産事業所を取り巻く四重苦の事業課題」と題して、仕事量は減る、経費はかさむ、設備は劣化する、少子高齢化による雇用の問題が、上げられていました。

当日は、担当本部役員を含む19名が参加しました。開催趣旨は、ワンダスキンの実現に向けて互いの立場を越え、生産と営業の現場が心と力を合わせて、お客さまへの「喜びのタネまき」を実践していくことです。始めに短時間ですが、大阪中央工場の最新設備を見学しました。

そして、早速色んな話し合いがざっくばらんに行われました。

生産側からは

- ① 全国の工場エリア会を開催し、生産との交流を図る
- ② オーダーメイドマットの再製作に関するトラブル
- ③ 商品発注締切時間の短縮化(例えば、21時を18時に)
- ④ DC 新製品に伴う、旧商品の統廃合

クリーン側からは

- ① チップ導入による商品(クローバ)検品の簡素化

- ② 組織員までの集配送
- ③ ブロック単位での各種行事に、ワンダスキンとして協賛
- ④ 工場に可能な営業協力の推進

等、熱心に話し合われました。

まず、本部も入って加盟店会同士でワンダスキンを進めます。もし、遠慮や垣根があるのなら、交流を深めて遠慮を失くす・垣根を取り払う・無駄を失くす、互いのメリットを活かせるよう相互に話し合い努力をすることです。コミュニケーション不足は誤解や不信を生じさせますが、話し合えば必ず理解が進み、一致点が見出せます。

私のエリアには愛媛工場があります。田舎ですので、地元の有力企業として雇用や地域貢献でも大きな役割を果たしてくれています。例えば、地元小学校への工場働きさんによるキレイのタネまき教室の開催。もう数年に渡り、毎年10回以上出前授業を行って下さっています。地元の学校や企業・ボランティア団体等の工場見学も積極的に受け入れて頂いています。確か愛媛工場の工場見学者数は日本一だとも伺いました。生販が一体になって、ダスキンを広めることが重要です。今期一年の間に、クリーンの組織員約6万名全員が工場見学を改めて行えたなら、工場の皆さんの献身的なご苦勞に対する感謝や商品の品質に対する自信も倍化します。地球環境保護への取組みは、排水処理を含めて、50年前の大量生産・大量消費の時代から、ひとつのモノを繰り返しレンタルするダスキンのエコが見直されています。

今後、ケアサービス加盟店会との懇談会も予定されています。加盟店現場では実際に行われているケアとのコラボ、協力・連携・共同作業をお客さま視点に立って進めて参ります。DDuet やニューサービス事業も含めた本部政策も、強力に進められる加盟店でありたいものです。

13期の全国加盟店会のモットーは、「100年続くダスキンへ」一心と力を合わせようです。今期もどうぞ宜しくお願い申し上げます。 ありがとうございます。 合掌

*ダスキン新居浜支店の皆さまへ

お陰さまで、第23回ダスキんフェアが盛大に開催されました。今回のフェアからは何点か新しい試みをさせて頂きました。

- ① 会場を3階から1階へ。広く大きく(50坪と100坪)ゆったりとご覧頂きました。次は、西条も100坪へ。
- ② 企画運営をHS主導から、レギュラー全体へ。特に、常務・小林さんを中心に男性の力を大いに活用。会計・レイアウト・POPもパソコンや映像を多用し、ビジュアル化を推進。
- ③ ポスティングに加え、初めて新聞折り込みやチラシ手渡しを行い、未使用の方々にもお誘い。

その他にも、細やかな改善を加え、支店全体事業として、皆さまにも集客を始め多大なご協力を頂きました。正に今期のテーマ通り、全員で心と力を合わせた NEW ダスキんフェアが開催できました。アンケートを回収して、更に良いイベントに進化させて行きます。お客さまにもっと喜ばれ、更にワクワクと楽しいイベントにします。

夢限りなく、若い方たちにどんどんリーダーシップを取ってほしいと、その面でもワクワクしてきました。

ありがとうございます。 合掌